

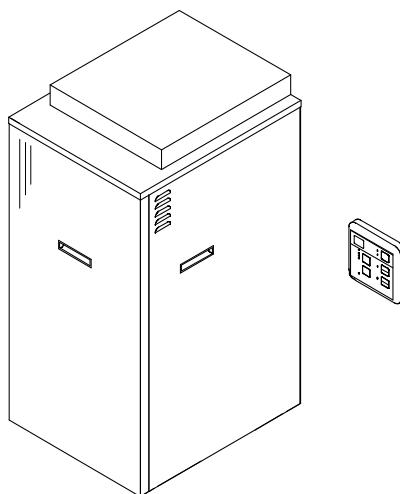
家庭用・業務用

ダブル除菌システム搭載
24時間風呂

バルナ VARUNA II

CKV-701JR (100V 仕様)
CKV-721JR (200V 仕様)

取扱説明書



このたびは、バルナII CKV-701JR/CKV-721JR をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、必ずこの取扱説明書を読み、
読んだあとは、いつでもご覧になれるように、
必ず保管してください。

⚠ 警告

- ・温水循環器は、取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ・ご使用になる前には、必ず温水循環器の各部に異状がないことを確認してください。また、各部にき裂、へこみ、曲がり、ゆるみなどの異状を生じた場合は使用しないでください。

- 別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買いあげ日、販売店名等の記入を確かめてください。



もくじ







1, 特に注意していただきたいこと	1~6
2, 各部の名称	7~10
3, 操作のしかた	11~20
1. 運転の準備	11
2. 運転開始	14
3. 各機能	15
4. 長期間使用しないとき	17
5. 凍結予防	17
6. 水抜き方法	18
7. 使用上の注意	19
4, 日常の点検	21
5, 日常のお手入れ	22~29
1. 浴槽水換水と浴槽清掃	22
2. トップフィルターの洗浄	23
3. ストレーナー（別売）の洗浄	23
4. ろ過材の洗浄	24
5. 配管洗浄	25
(業務用で使用する場合)	(27~29)
6. 浴槽水の消毒（浴水清浄液(別売)の投入)	27
7. ろ過装置の洗浄と消毒	27
8. 浴槽水遊離残留塩素濃度測定	28
9. 浴槽水の水質検査	28
10. ろ過装置の逆洗浄	28
6, 異常とその処置	30~31
7, 部品交換のしかた	32
8, 仕様	33
9, アフターサービス	34

特に注意していただきたいこと

◆ご使用前に、『特に注意していただきたいこと』の項をお読みのうえ正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を、未然に防止するためのものです。
- この取扱説明書の中に出てくる、『警告』『注意』を意味する各図記号を説明します。これらは、安全にご使用いただくためのものですので、特に図記号のついたページ、項目はよくお読みください。
- 『注意』の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示しています。

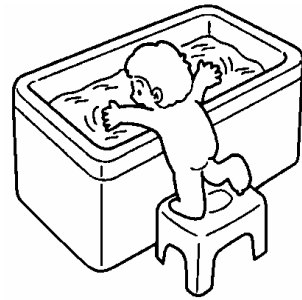
 禁止	 強制	 電源プラグを抜け
 分解禁止	 感電注意	 アースを接続せよ
 高温注意		

警告

●お風呂に入る前に

- ・幼児や体の不自由な方を一人で入浴させないでください。

おぼれたり、やけどやケガをするおそれがあります。



禁止

- ・小さなお子様を浴室内で遊ばせないでください。

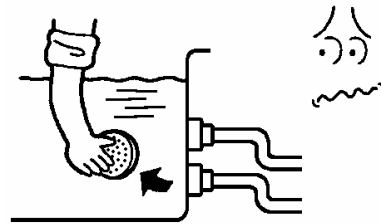
おぼれたり、やけどやケガをするおそれがあります。



禁止

- ・浴槽循環口のトップフィルターユニットを、外して使用しないでください。

運転中に吸い込まれて、おぼれたりするおそれがあります。

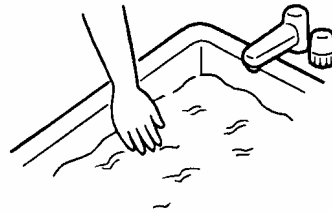


禁止

●高温注意

- ・入浴の際には、手で湯の温度を確かめてください。

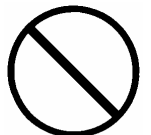
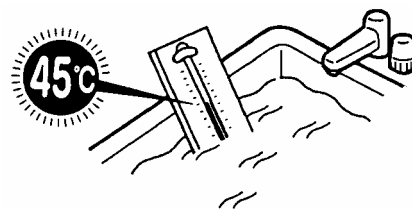
やけど予防のため



高温注意

- ・浴槽内には45℃以上のお湯はりしないでください。

やけど予防のため



禁止

●異常時、緊急時の処置

- ・地震や火災などの緊急の場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・異常が発生した時（こげ臭い、異常音など）は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

異常のままで運転を続けると、感電や火災故障などの原因になります。



電源プラグを抜け

●除菌性能を守るために

- ・紫外線灯が点灯しているか、ときどき点検してください。点灯確認の時、紫外線灯の光を直視しないでください。
- ・別売品の浴水清浄液（レジックス）を使用する場合は、浴水清浄液に同梱されている説明書に従い、必ず毎日ご使用ください。



確認

特に注意していただきたいこと

警告

●使用電源の確認

- ・この本機の電源電圧は、CKV-701JRは単相 100V 50/60Hz、CKV-721JRは単相 200V 50/60Hzです。
- ・必ず専用回線を使用してください。

他の電源で使用すると故障の原因になります。



確認

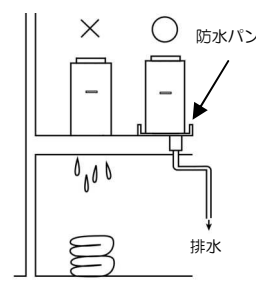
●本機の設置・移動工事は

- ・本機の設置・移動及び付帯工事は、お買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

思わぬ事故を予防するため

- ・雨水等のかからない屋外に設置してください。

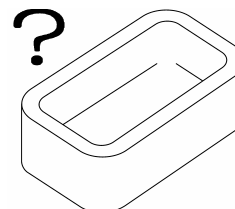
やむを得ず屋内に設置する場合は、本機が万一水もれ等を起こしても支障のない場所や、防水対策を施して設置してください。



確認

- ・本機を設置する前に、浴槽の材質を確認してください。浴槽メーカーの24時間風呂対応浴槽をご使用ください。

一部の浴槽には、浴水を長時間貯めて継続使用しますと浴槽の表面に荒れ、膨れ、変色が起こる場合があります。



確認

※本機は、入浴以外の目的には絶対に使用しないでください。



禁止

注意

●保温性の悪い設置条件では

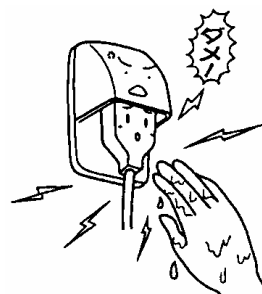
- ・本機の対応基準浴槽は0.7m³ですが、保温性の悪い設置条件（コンクリート浴槽、岩風呂、広く浅い浴槽など）又は寒冷地などの場合、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

⚠ 注意

●電気事故防止

- 濡れた手で電源プラグをさわらないでください。

感電のおそれがあります。



感電注意

- 電源コードを引っばって、電源プラグを抜かないでください。

電源コードの断線（芯線の一部）による発熱や、発火の原因になります。



禁止

- 電源プラグの差し込みは、確実に行ってください。

プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと、火災や感電の原因になります。



確認

- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜け

- ときどきは電源プラグを抜き、ほこり（及び金属物）等を除去してください。

ほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

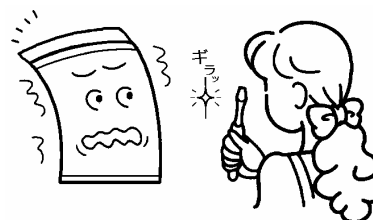


確認

●分解・改造の禁止

- 本機の分解や改造を行わないでください。
- 電源コードは、切断したり延長したりしないでください。

ショート、感電、火災、故障の原因になります。



分解禁止

●アースの確認

- 本機はアースが必要です。アースされているか確認してください。

アースを外して使用すると、万一の故障や漏電のとき感電の原因になります。



アース接続

特に注意していただきたいこと

お願い

●浄化性能を守るために

- ・温泉水や炭酸カルシウムを多く含んだ水や飲料不可な水等は、使用しないでください。

本機を傷める場合があります。

- ・浴槽内では、入浴剤、石けん、ボディシャンプー、クリームなどは使わないでください。
(特に硫黄成分を含んだ入浴剤を使用しない。)
- ・体に塗った薬類やひどい汚れは、入浴前によく洗い流してください。
- ・薬草・果実類を浮かべて使わないでください。

浄化性能が低下する場合があります。

- ・万一、あやまって使用した場合は、浴槽の水を全て入れ替えてください。



禁止



確認

●にごり対応（水交換の目安、注意）

- ・本機の使用条件によっては、浴槽水がにごることがあります。
浴槽水がにごった場合、次のような処置を行ってください。

1. 電源プラグを抜いて運転を停止してください。
2. 浴槽水を全て抜いてください。
3. 浴槽内側の面にヌメリが付いている場合は、洗い流してください。
4. 浴槽に改めてお湯をはってください。
5. 電源プラグを入れて運転を再開してください。



確認

- ・対応入浴人数を越える方が入浴された、または1度に多数の方が入浴された場合、浴槽水が濁ることがあります。この場合、浴槽水を抜いて入れ替えてください。

●臭い対応（一般的な臭い、処置）

- ・本機を使用し、正常に浄化している場合でも、全く無臭と言うわけではなく、若干の臭いはあります。もし、にごりはないが不快臭が浴槽水からする場合は、次のような処置を行ってください。

1. 電源プラグを抜いて運転を停止してください。
2. 浴槽水を全て抜いてください。
3. 浴槽内側の面にヌメリが付いている場合は、洗い流してください。
4. 浴槽に改めてお湯をはってください。
5. 電源プラグを入れて運転を再開してください。



確認

お願い

●補助用具について

- ・本機の付属品または、指定のもの以外は使用しないでください。

事故防止のため



禁止

●停電時について

- ・停電すると運転が停止します。
停電後、再通電すると、停電前の運転に戻ります。温度設定などを確認してください。

事故防止のため

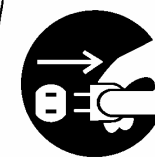
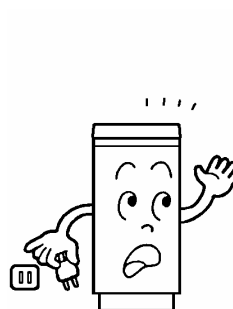


確認

●落雷のおそれがある時

- ・近くで雷の音が聞こえてきたときは、電源プラグを抜いてください。

落雷による電子部品の破損予防のため



電源プラグを抜け

●凍結に注意

- ・冬期には、凍結による本機の破損予防のために必要な処置をしてください。

(詳しくは17ページをお読みください。)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。



確認

●長期間使用しない場合

- ・長期間使用しない場合は、凍結などを防止するために必要な処置をしてください。
(詳しくは17ページをお読みください。)



確認

●点検・お手入れ

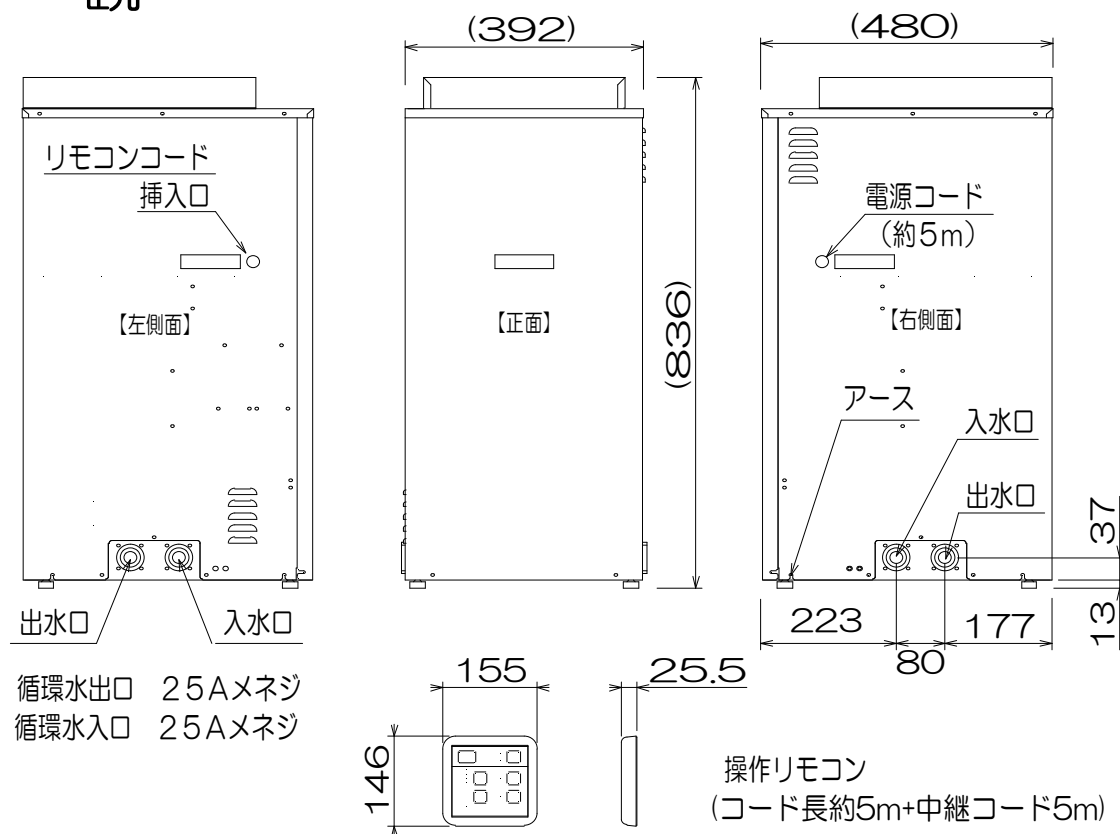
- ・点検・お手入れを必ず行ってください。
(詳しくは21～29ページをお読みください。)



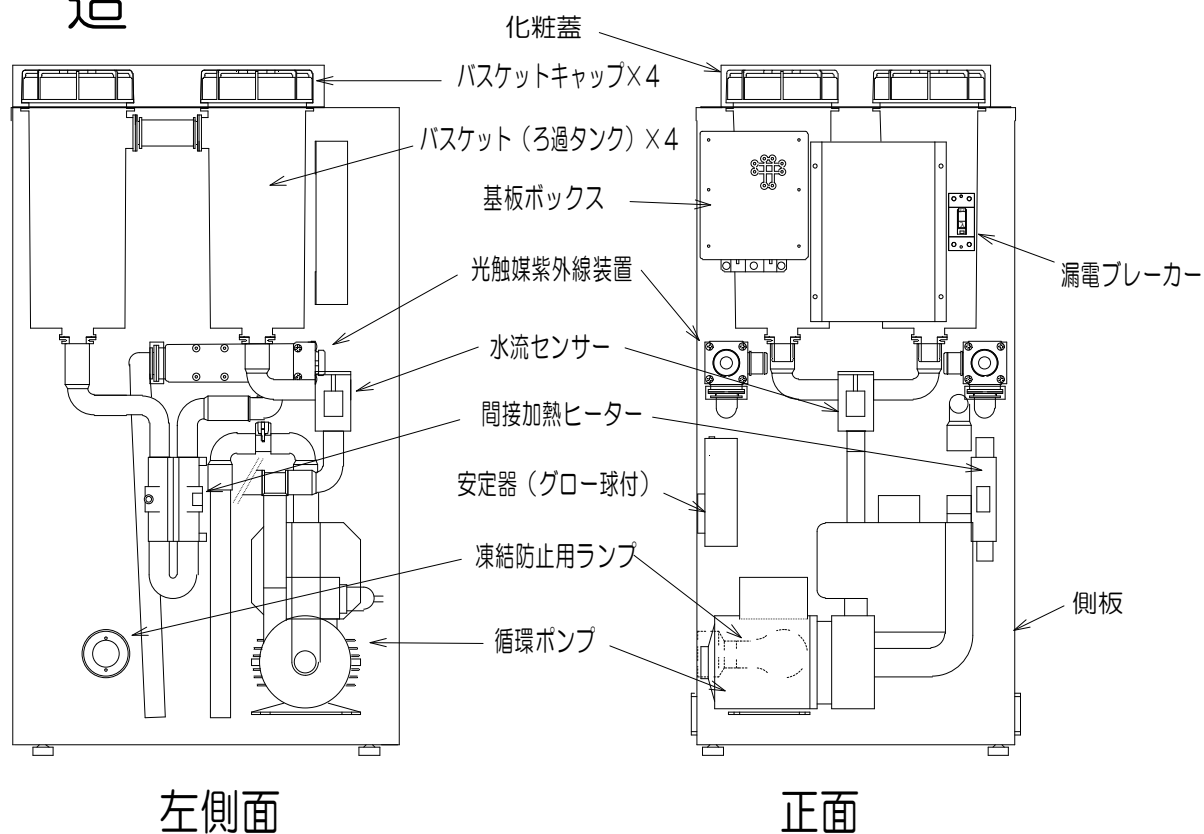
確認

各部の名称

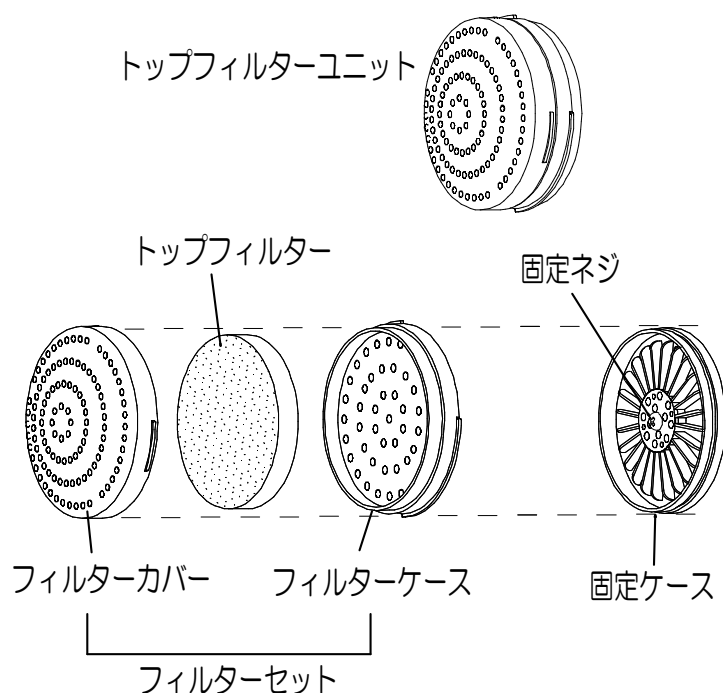
外 観



構 造



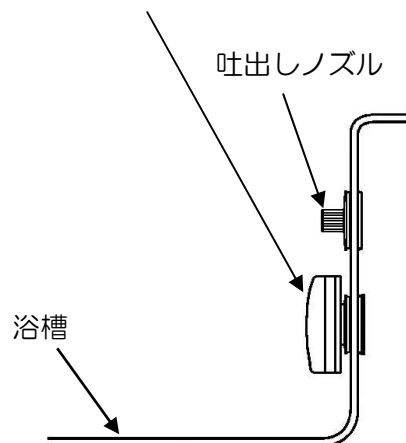
トップフィルターユニット 外 観



※下記のような場合は、トップフィルターを使用せずに、ストレーナー（別売品）をご購入ください。

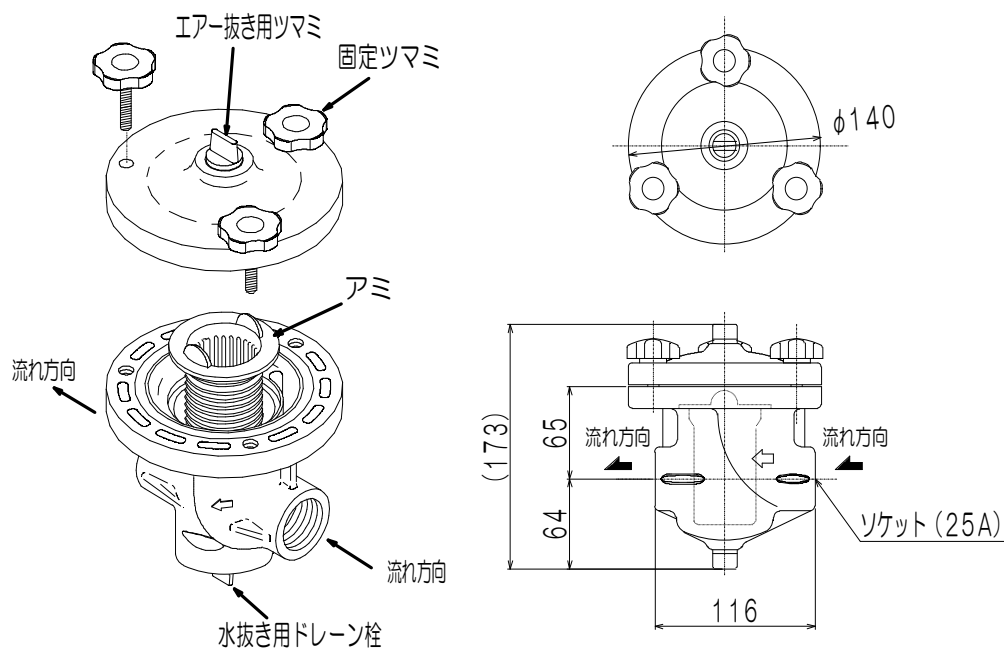
- ・ 入浴者数が多い
- ・ トップフィルターの汚れがひどい
- ・ 業務用等で浴水清浄液（レジックス）を使用する

トップフィルターユニット

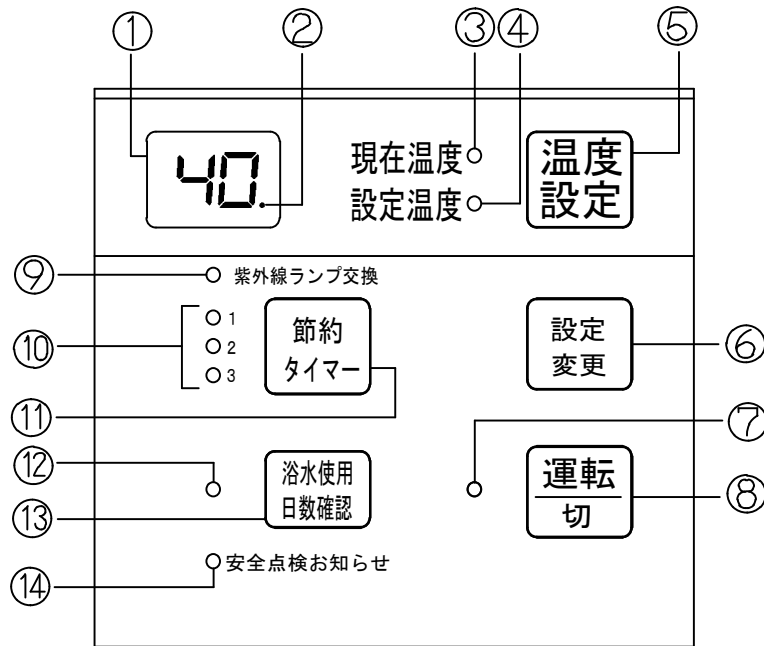


ストレーナー(別売品) 外 観

※ストレーナーを使用する場合は、トップフィルターは不要です。フィルターカバーとフィルターケースのみでご使用ください。



操作パネル



①温度表示部

- 浴水温度を表示
- 設定温度を表示
- 浴槽水の使用期間を表示
- エラー表示・節約タイマーモードの設定時間表示
- 紫外線ランプ交換時の異常表示

②ヒーターランプ

- ヒーター通電中に点灯

③現在温度ランプ

- 温度表示部に現在の温度を表示しているとき点灯

④設定温度ランプ

- 浴水温度設定中に点灯
- このとき温度表示部に設定温度を表示する

⑤温度設定スイッチ

- 浴水の温度を設定（31・37～45℃またはヒーターOFF）
- 「OF」表示の時はヒーター切で運転

⑥設定変更スイッチ

- メンテナンス時に使用します

⑦運転ランプ

- 運転中に点灯
- エラー時点滅

⑧運転スイッチ

- 運転の入/切
- エラーのリセット

⑨紫外線交換ランプ

- 紫外線ランプの交換時期に点灯または点滅します
- 点灯または点滅したとき約 30 秒に 1 回、温度表示部に「□」を表示します

⑩節約タイマーランプ

- 節約タイマーモード運転中に点灯

⑪節約タイマースイッチ

- 入浴しない時間帯はヒーター切運転を行い、節電運転します
- 初期設定では、ランプ 1 個点灯毎に 5 時間の節電運転を行います
- 節約タイマーモードの設定時間を変更するときにも使用します

⑫浴水交換お知らせランプ

- 浴水の交換時期をお知らせします
- 浴水交換から 7 日で点灯します

⑬浴水使用日数確認スイッチ

- 浴水の使用日数を確認したいときに押します
- 浴水を交換したとき、使用日数のクリア操作にも使用します

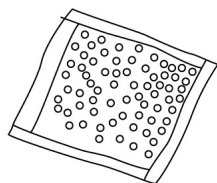
⑭安全点検お知らせランプ

- お客様に安全点検をお知らせするランプです
- このランプが点滅したら必ず、販売店に安全点検を依頼してください（点検は有料です）

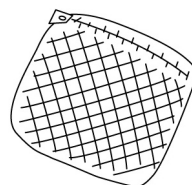
- お客様に製品を安全に長期間ご使用いただくため、「長期使用安全点検・表示制度」の主旨に準じて、製品の経年劣化等による製品の重大事故を防止するための機能です

付属品

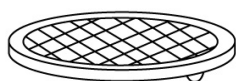
※は消耗品 ()は、入数。



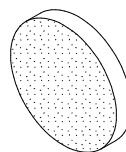
※ ろ過材 (8)



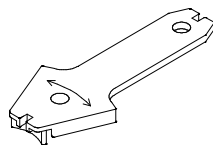
※ ろ過材ネット (8)



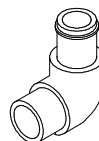
バスケット底網 (4)



※ トップフィルター (2)



締付ハンドル (1)



樹脂エルボ (片側カット品) (2)

別売品

- ・ 交換用トップフィルター : 傷んだら交換
- ・ 補充用ろ過材 : 摩耗などにより減少したら補充
- ・ ろ過材ネット : 傷んだら交換
- ・ 交換用紫外線ランプ : 約1年または交換ランプが点灯(点滅)したら交換
- ・ グロー球 : 紫外線ランプ交換時に交換
- ・ 配管洗浄剤 : 配管洗浄毎に使用
- ・ 浴水清浄液(レジックス) 2.5L
- ・ レジックス200mL

操作のしかた

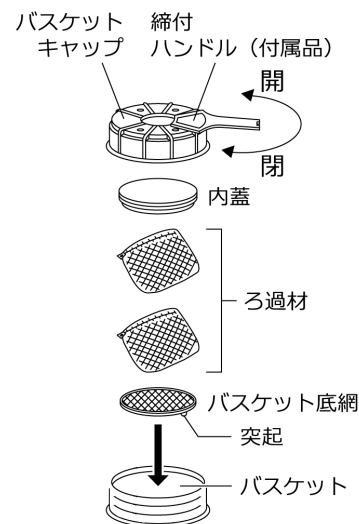
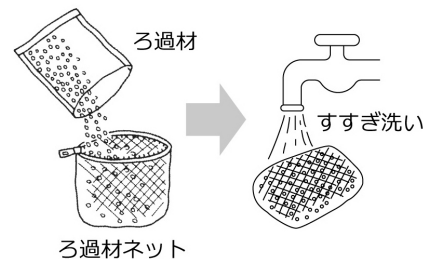
1. 運転の準備

- はじめて運転するときには、次の手順で行ってください。
- 注意事項はよく確認してください。

1. ろ過材のセット

- ①ろ過材をろ過材ネットに入れ、水道水ですすぎ洗いしてください。(8袋すべて)
- ②本体の化粧蓋を外し、付属のハンドルでバスケットキャップと内蓋を外してください。
- ③バスケットに、バスケット底網を突起を下に向けて入れます。
- ④1つのバスケットに、ろ過材の入ったろ過材ネット2袋をセットします。
- ⑤内蓋をして、バスケットキャップを閉めてください。

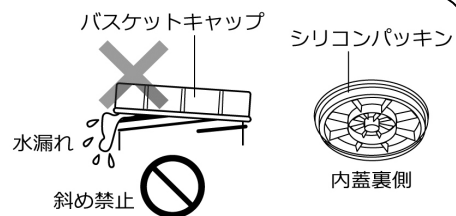
同様の方法で、4箇所すべてのバスケット(ろ過タンク)に、ろ過材をセットしてください。



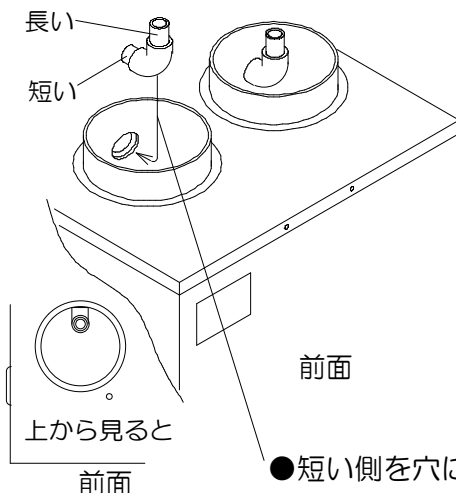
※ バスケットキャップの締めすぎに注意してください。
かまかせに締めると、バスケットが破損して水漏れの原因になります。

注意

- バスケットキャップと内蓋は、本体と水平になるように、専用ハンドルで**適度**に締めてください。
- バスケットキャップと内蓋を、斜めに取り付けたり、確実に締まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。
- 内蓋を取り外すときは、水漏れ防止のため、内蓋のシリコンパッキンが外れていないか、または傷んでいないか確認してください。



注意



【ろ過材をセットする際の注意点】

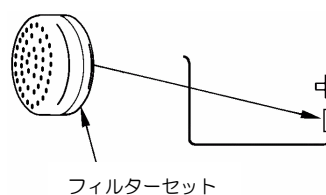
正面手前側のろ過タンクは、ろ過材セット後にろ過材を手前側によせながら、ろ過タンク内側の横穴に樹脂エルボを差し込んでください。(左図参照)

樹脂エルボを使用しなかった場合、ろ過材の網が横穴を塞ぐ事があり、本機の安全装置が作動して保温が出来なくなったり「E3」で停止する場合があります。

- 短い側を穴に差し込み、長い側は上向きにする

⑥浴槽の排水栓を、水漏れのないように取り付けてください。

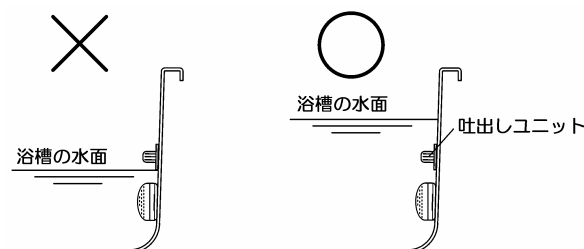
⑦吸込み口に、フィルターセットを取り付けてください。



⑧浴槽の水面が吐出しユニットより上になるように湯（水）はりしてください。

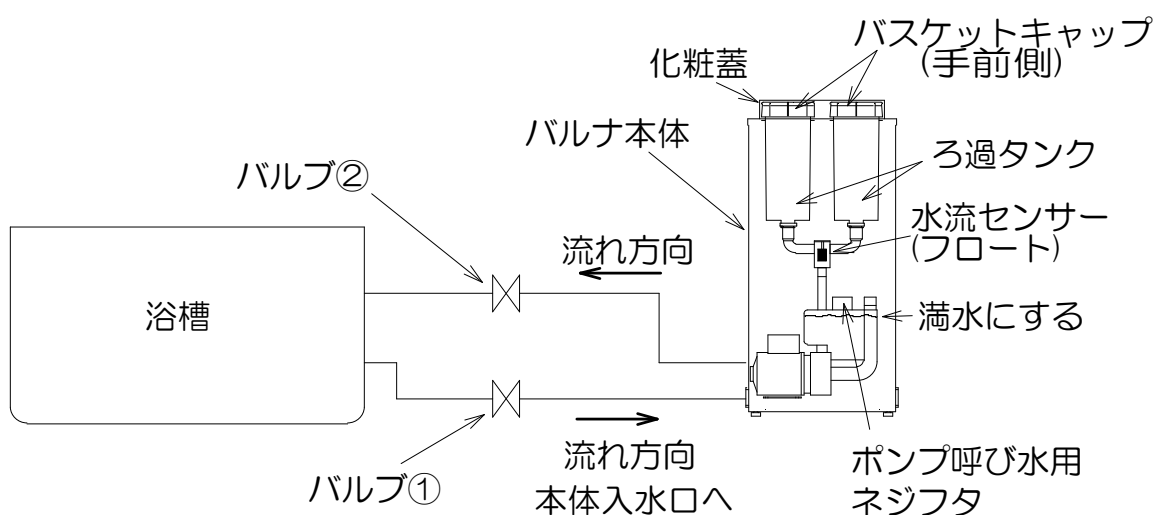
注意

- 本機は厚生省令第56号に適合する水道水を対象としていますので、温泉水等での使用は避けてください。
- 50℃以上の熱湯を浴槽に入れて本機を使用しないでください。



2. 呼び水（むかえ水）のしかた

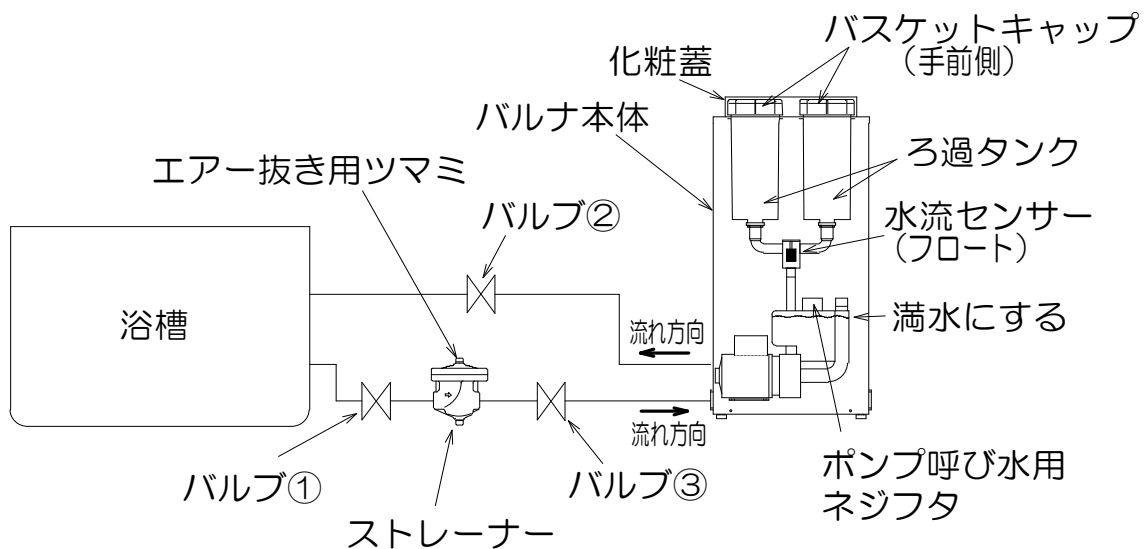
1. バルブ①・②を閉めてください。
2. 浴槽に水をはってください。
3. 本体化粧蓋を外し、4 つあるバスケットキャップの手前側のいずれかを開け、ろ過タンクに水を注いでください。（2L程度）
4. ポンプ呼び水用ネジフタをゆるめると、ろ過タンク内の水がポンプに流れ込みます。満水になったところでネジフタを締めてください。その後、バスケットキャップもすべて締めてください。
5. バルブ①・②を開け、運転スイッチを押して運転を開始してください。（操作のしかた 14 ページ参照）



30 秒程度でうまく循環しない場合は、再度運転スイッチを「切」→「入」してください。

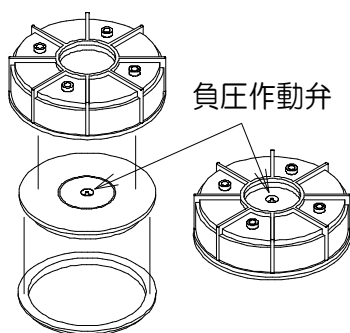
(ストレーナー (別売品) を使用している場合の呼び水 (むかえ水) のしかた)

1. バルブ②・③を閉めてください。
2. 浴槽に水をはってください。
3. 本体化粧蓋を外し、4 つあるバスケットキャップの手前側のいずれかを開け、ろ過タンクに水を注いでください。(2L程度)
4. ストレーナーのエア抜き用ツマミをゆるめて、ストレーナー内の空気を抜き、ストレーナー内も満水にしてください。満水になったところでツマミを締めてください。
5. ポンプ呼び水用ネジフタをゆるめると、ろ過タンク内の水がポンプに流れ込みます。満水になったところでネジフタを締めてください。その後、バスケットキャップもすべて締めてください。
6. バルブ②・③を開け、運転スイッチを押して運転を開始してください。
(操作のしかた 14ページ参照)



30 秒程度でうまく循環しない場合は、再度運転スイッチを「切」→「入」してください。

⚠ 注意



運転中は、バスケットキャップ中央部の负压作動弁を、むやみに押さないでください。

万一、中央の樹脂部分の中に押し込んでしまった時は、運転を一旦停止させて、バスケットキャップを取り外し、押し込まれた樹脂部分を、内側から指で押し戻してください。中央の樹脂部分が押し込まれた状態で使用を続けると、负压作動弁が正常に動作しない場合があります。

操作のしかた

2. 運転開始

- ・電源プラグをコンセントへ差し込む。
- ① 前板を外し、右上にある漏電ブレーカーのスイッチを「入」の側にしてください。
(本体内の照明が点灯します)
- ② 前板を戻し、操作パネルの運転スイッチを押してください。(本体内の照明が消灯します)

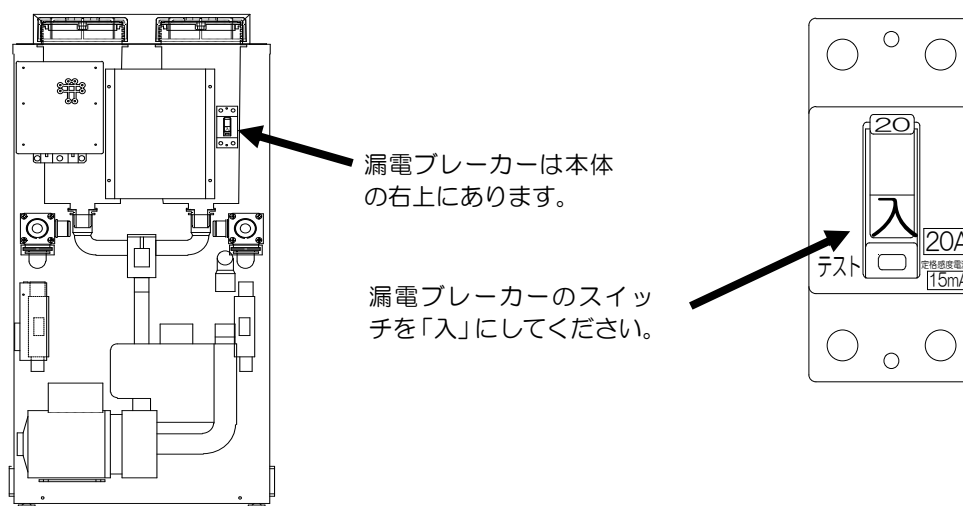


注意

- ・電源は必ず**専用コンセント**を使用し、延長コードは使用しないでください。
- ・差し込みのゆるい電源コンセントは使用しないでください。

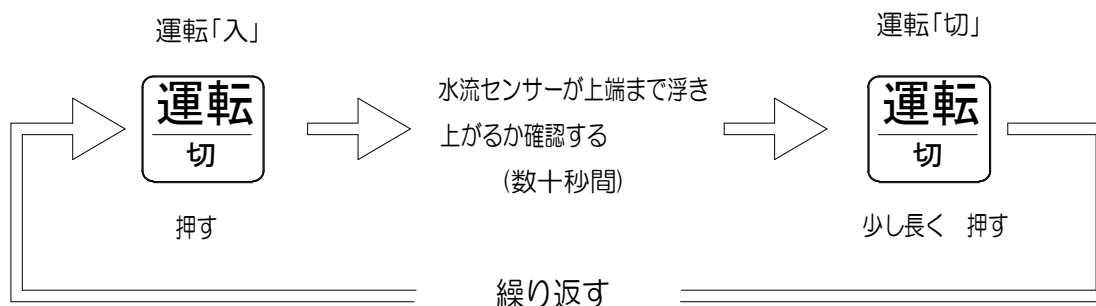


禁止



漏電ブレーカーのスイッチを「入」にして、運転スイッチを押しても運転が開始されない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

- ・運転スイッチを押しても、吐出しノズルから浴水が継続して流出しない場合 (E 3 表示)、次の手順を行ってください。
前板を外し、中央部にある水流センサーのフロート(黒色)が上に浮上するまで、運転「入」・「切」を繰り返してください。



繰り返し動作は、ポンプ音が一旦停止してから行ってください

3. 各機能

1. 運転の入切

○運転スイッチを一度押すと、運転を開始します。停止させるときには、少し長く押します。

○運転中は、運転ランプが点灯します。

※電源プラグまたは、漏電ブレーカーで電源を切るときは、必ず運転スイッチで本体を停止させてから行ってください。

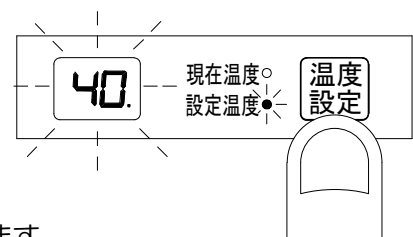
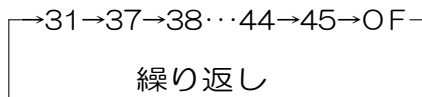
2. エラーのリセット

○運転中にエラー表示が出ると自動停止します。運転を再開するときには、原因を解明して運転スイッチを押し、「切」→「入」します。

3. 温度設定

①温度設定スイッチを押すと、設定温度ランプが点灯（現在温度ランプは消灯）し、温度表示部に現在設定されている温度が点滅表示されます。

②温度設定スイッチを一度押す毎に1℃上昇します。



●31℃・37℃～45℃までの間で、お好みの温度を設定します。

31℃設定は、本機とは別に追いだき機能があるご家庭でご使用になれます。
(毎回入浴前に、追いだきでの加温が必要になります。)

③温度設定を「OF」にすると、ヒーターを切って運転します。

④温度設定を変更して約5秒間放置すると、設定が更新され、温度表示部は現在の温度に戻ります。

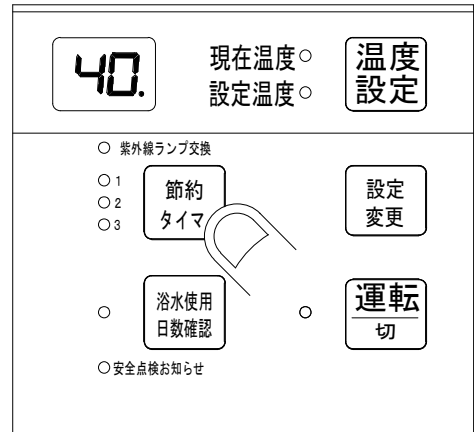
お知らせ

- 現在温度表示は、本体内を循環している浴水温度を表示しています。浴水に水を補給した場合、一時的に表示温度が下がることがあります。
- 設置工事のホース長さや設置条件等により、表示温度と浴水温度に差が生じる場合があります。

本機は、循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用している省エネ設定となっておりますので、夏期や浴室内の気温が高い時は、設定温度よりお湯の温度が高くなる場合があります。このような場合には水道水を浴槽に入れ、適度な温度まで下げてください。

4. 節約タイマーモード

- 翌日入浴しない時などに使用します。
- 節約タイマースイッチを押すと、設定された時間だけヒーターを切って運転します。
- 節約タイマースイッチを押す度にランプが、1点滅→1・2点滅→1・2・3点滅→消灯(解除)と切り替わります。
- 初めてお使いになるときは、ランプ1個が5時間に設定されています。(ランプ3個点滅の場合は15時間になります)
- ランプ1個の時間を変更することもできます。(4~8・12・24時間まで)
- 節約タイマーモードが終了すると通常運転に戻り、浴水を加温し始めます。
- 節約タイマーランプが点滅から点灯に変われば、節約タイマーモードを開始します。



●ランプ1個の時間変更の方法

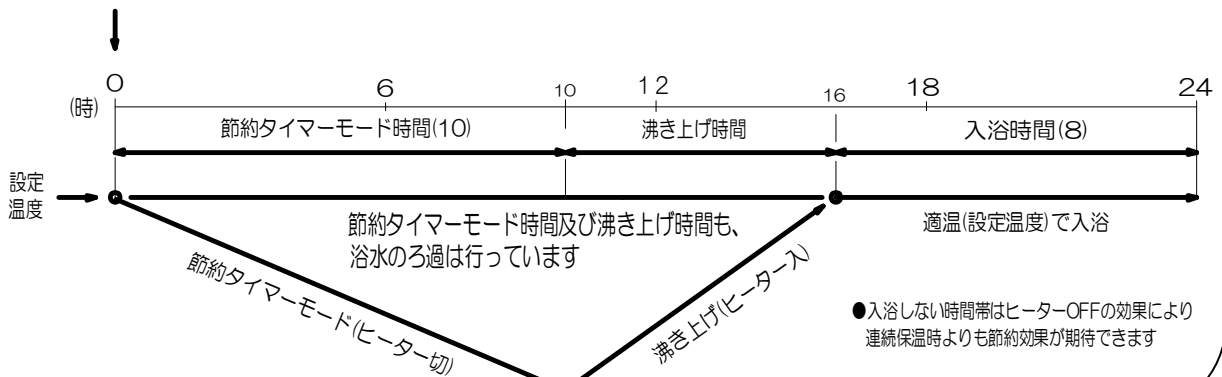
- ①節約タイマースイッチを3秒押す→ランプ1個の時間が温度表示部に点滅表示されます。
- ②温度設定スイッチで時間を変更してください。
- ③設定変更スイッチを押して決定します。
(運転スイッチを押すと、変更されずに変更モードを終了します)

		節約タイマーランプ		
		①点灯	①②点灯	①②③点灯
ランプ1個の時間	4	4	8	12
	5	5	10	15
	6	6	12	18
	7	7	14	21
	8	8	16	24
	12	12	24	36
	24	24	48	72

上記以外の時間は設定できません

節約タイマーモードの動作イメージ

例：入浴時間が8時間(16時から24時まで)、浴室気温20℃の場合
入浴時間終了後、節約タイマースイッチを押す(10時間)



- 入浴時間外に入浴する場合は、湯温が設定温度より下がっています。
浴水のろ過は常に行っているため、追いだき・足し湯等で適温にすれば入浴できます。
- 浴水量、気温、設定温度等の条件により、入浴時間になってもお湯が沸き上がっていない場合があります。
(沸き上がっていない場合は、次回より節約タイマーモードの設定時間を短くしてご使用になるか、または追いだき・足し湯等で適温にして入浴してください)
- 浴水量、気温、設定温度等の条件によっては、電気代が連続保温時とほとんど変わらない場合があります。
- 節約タイマーモード設定は、節約タイマーモード使用日毎の操作となります。連続して使用される場合は、その都度節約タイマースイッチを押してください。

5. 浴水交換お知らせランプ

- 浴水の交換時期をお知らせします。
- 浴水交換から7日で点灯します。

6. 浴水使用日数確認スイッチ

- 浴水使用日数確認スイッチを押すと、浴水の使用日数を確認することができます。(0~299日)
- 浴水を交換したら、必ず使用日数のクリアを行ってください。
- 浴水の使用期間、ろ過材の洗浄期間、配管洗浄期間等の目安として、お客様のお好みの用途でご使用ください。(浴水交換お知らせランプは1週間で点灯しますが、日数のカウントは継続しています)

●使用日数のクリア方法

- ①浴水使用日数確認スイッチを押す。
- ②使用日数の表示中(5秒間)に、再度スイッチを2秒以上押してください。
- ③表示部に「00」が表示されるとクリア完了です。(同時に浴水交換お知らせランプも消灯します)

浴水使用日数の読み取り例

表示	浴水使用日数
99	→ 99日目
99.	→ 199日目
9.9.	→ 299日目
12.	→ 112日目

4. 長期間使用しないとき

長期間運転しない場合、配管、ろ過材、フィルターセット等を洗浄し、電源プラグを抜いて機器の水抜きを行ってください。ろ過材は乾燥させて保管してください。

(水抜き方法 18ページ参照)

再び使用するときには、11ページ「1. 運転の準備」に従って運転を開始してください。

5. 凍結予防

凍結の恐れのあるときに運転を停止する場合は、水抜きなどを行って凍結予防をしてください。

(水抜き方法 18ページ参照)

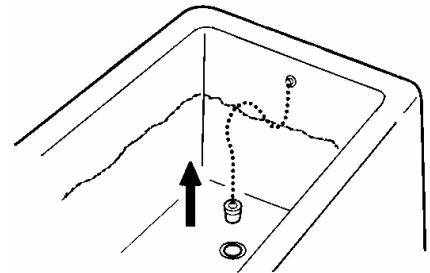
凍結すると機器や配管が破損し、高額な修理費がかかる場合があります。

(凍結による修理は、保証期間内でも有償とさせていただきます)

操作のしかた

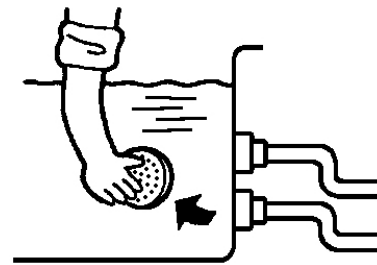
6. 水抜き方法（凍結予防または、長期間使用しないとき）

- ①運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
- ②ふろの排水栓を抜いてください。



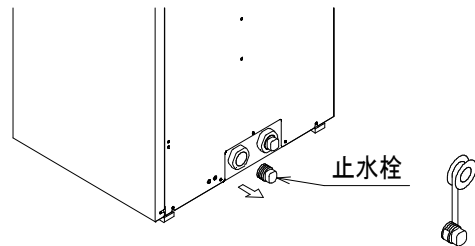
- ③4箇所のバスケットキャップをそれぞれ外し、ろ過材（8袋）を本体から取り出してください。

- ④フィルターセットを、吸い込みユニットから、取り外してください。



- ⑤機器の循環水入口、出口の止水栓を、左に回し外してください。

〔循環配管に呼び水用のバルブがあれば、全開にしてください。〕



※浴水が多量に排水されるので、水濡れにご注意ください

〔水抜き後、止水栓にシールテープを巻き、元通り締めてください。〕

- ⑥ろ過材は手洗いし、乾燥させて保管してください。（ろ過材の洗浄 24ページ参照）

●再びご使用になるとき

配管洗浄を行い、ろ過材をセットしてご使用ください。

（配管洗浄 25～26ページ参照）（ろ過材のセット 11ページ参照）

●短期間使用しないときは、ヒーターをOFFにして循環運転のみを行い、再使用するときには浴水の入れ替え、場合によっては配管洗浄を行って、運転を開始してください。

7. 使用上の注意

- ご使用にあたっては、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

誤った取扱をすると、人身事故（レジオネラ感染症を含む細菌感染など）や家財の損害に結びつくおそれがあります。



- 点検・お手入れは、必ず行ってください。

業務用で使用する場合、お手入れには3年以上管理記録を保存する項目があります。詳しくは28ページを参照してください。



- 浴槽に付着した湯あかや汚れは、入浴後にスポンジ等で拭き取ってください。

浴槽に湯あかや汚れ等が付着していると、細菌などが繁殖しやすい環境となり、菌による疾病を起こす原因になることがあります。



- 浴槽水の入れ替えは、1週間に1回以上行ってください。

長期間浴槽水を入れ替えなかったり、浴槽水が濁ると菌が繁殖しやすくなり、疾病を起こす原因になることがあります。



- 浴槽内のお湯は飲まないでください。

細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。



- 入浴するときは、身体をよく洗ってから入浴してください。

身体に付着している菌を浴槽に持ち込むと、菌が繁殖して菌による疾病を起こす原因になることがあります。



- 入浴前にかけ湯をしてください。

浴槽内のお湯が長期間入れ替わらないと、菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因になることがあります。



- タオルは、浴槽内では使用しないでください。

お湯が汚れたり、濁ると菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因になることがあります。



- 浴槽内のお湯をシャワーに使用しないでください。

浴槽水のエアロゾル（目に見えない水粉子）が発生した場合に、細菌を吸い込み疾病を起こす原因になることがあります。



- 身体に傷・化膿症の方は、患部を浴槽内のお湯につけないでください。

化膿傷から浴槽内に菌を持ち込むことがあり、感染の原因になることがあります。



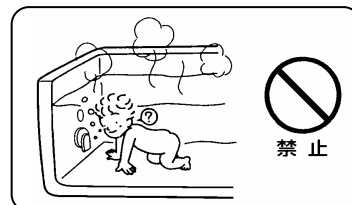
- 高圧の気泡発生装置（ジェットバス）は、入浴中は使用しないでください。

浴槽水のエアロゾル（目に見えない水粉子）が発生した場合に、細菌を吸い込み疾病を起こす原因になることがあります。



- 小さなお子様を、浴槽に潜って遊ばせないでください。
また、循環口の噴流を目や耳などに直接当てないでください。

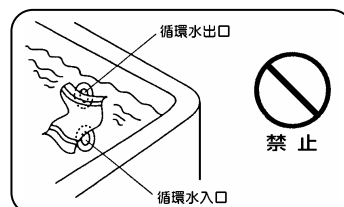
細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。



- トップフィルター及びストレーナー（別売）は
毎日確認し、定期的に洗浄してください。



- 浴槽の循環口は、タオルなどでふさがないでください。



- 砂、小石、水面に浮いた髪の毛などは
ろ過できませんので、取り除いてください。



- 入浴しないときは、浴槽にふたをしてください。



- 浴槽内でシャンプー・洗剤を使用しないでください。また浴室を
掃除するときは洗剤が浴槽内に入らないようご注意ください。



- 浴槽水は、水道水を使用してください。ただし、飲み水に可能な井戸水は使用できます。



- 24時間浴水をためておいても変質しない浴槽を使用してください。



- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤、温泉水は、浄化できなくなったり、
故障の原因となりますので使用しないでください。



- 紫外線灯の光を直視しないでください。



- 本機は完全防水ではありません。絶対に浸水させないでください。



日常の点検

- 機器を長く安全にご使用いただくために、日常の点検お手入れを必ず行ってください。
- 故障また破損している場合は、使用しないで買い上げの販売店にご連絡ください。

●点検内容

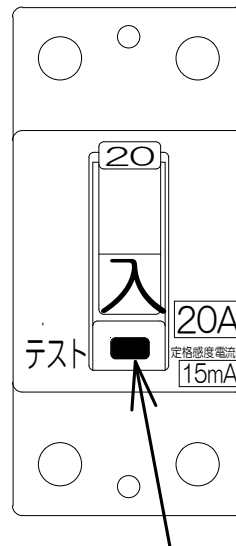
- ① 運転中に異常音などが聞こえませんか？
- ② 機器の外観に異常はありませんか？
- ③ 機器および、配管から水もれなどはありませんか？
- ④ 漏電ブレーカーの点検（1ヶ月に1回程度）

・漏電ブレーカーの動作確認

月に1度は、テスト（切）ボタンを押して漏電ブレーカーのスイッチレバーが下がり、本機が停止することを確認してください。

⚠ 警告

漏電ブレーカーのスイッチレバーが下がらない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。



テストボタン

⚠ 注意

電源プラグは、コードを持って引き抜かない。

・点検後の運転

漏電ブレーカーのスイッチレバーを押し上げて「入」側にすると、運転が開始します。

⚠ 警告

電源プラグは、浴室内や屋外等の水滴がかかる場所や湿気の多い場所へ持ち込まない。

日常のお手入れ

● 日常のお手入れ項目

⚠️ 注意 ・お手入れの前には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
 ・お手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。

- ・お湯をきれいに保つために、下記の上記のものは必ず定期的にお手入れしてください。
- ・浴槽のヌメリは、スポンジ等で軽くこすってください。
- ・紫外線ランプの寿命は、使用状態によって異なります。
- ・トップフィルター、紫外線ランプ、ろ過材、ろ過材ネットは消耗品です。
- ・ろ過材が、摩耗などにより減少しているようであれば補充してください。

● 浴水の衛生管理のため、下記の項目は必ず定期的にお手入れしてください。

お手入れ項目	頻 度		参照ページ
	ご家庭でお使いの場合	業務用でお使いの場合	
浴槽水換水と浴槽清掃	1週間に1回以上	1週間に1回以上	22
トップフィルターの洗浄	毎日入浴後		23
ストレーナー(別売)の洗浄	1週間に1回以上	1週間に1回以上	23
浴槽壁面のヌメリ、汚れ除去	毎日入浴後	毎日入浴後	22
ろ過材の洗浄	1ヶ月に1回以上	1週間に1回以上	24
配管の点検、洗浄	2～6ヶ月に1回	年1回程度	25～26
紫外線灯の交換時期	約1年	約1年	32
浴槽水の消毒(浴水清浄液の投入)		毎日	27
ろ過装置の洗浄と消毒		1週間に1回以上	27
浴槽水遊離残留塩素濃度測定		頻繁	28
浴槽水の水質検査		1年に2回以上	28

・(業務用で使用する場合) 管理記録が必要な項目は、その記録を3年以上保存してください。

1. 浴槽水換水と浴槽清掃

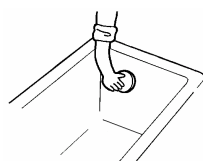
操作パネルの運転スイッチを押す

① 運転スイッチを押して、運転を停止する。

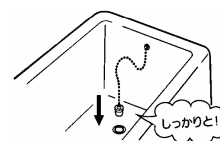


② 浴槽の排水栓を抜き、浴水を抜く。

③ 浴槽を掃除する。



④ 浴槽に水もれのないように排水栓をし、湯はりをする。



⑤ (業務用で使用する場合) 浴水清浄液を規定量投入する。

(浴槽水の消毒 27ページ参照)

⑥ 運転スイッチを押して、運転を再開する。(運転開始 14ページ参照)

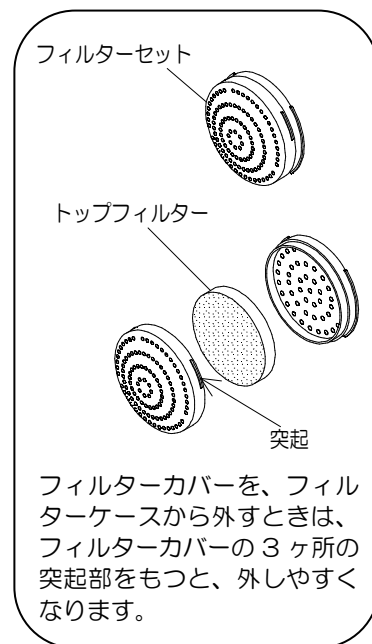
2. トップフィルターの洗浄

- ・トップフィルターは、浴水循環吸込口に取付け、髪の毛など、浴水の混入物が機器内に入らないよう、キャッチします。
- ・トップフィルターが目づまりすると、機器の性能が低下しますので、必ず毎日取り出し洗浄してください。

①フィルターセットを、浴槽外に取り出してください。
(浴槽内で、フィルターセットを分解しないでください。)

②トップフィルターを、水またはお湯に浸けてもみ洗いしてください。

〔 洗剤を使用する場合は、中性洗剤を使用してください。 〕



⚠️ 注意 トップフィルターは消耗品です。傷んだら交換してください。

3. ストレーナー（別売）の洗浄

- ・ストレーナーは、吸込側配管途中に取付け、髪の毛など、浴水の混入物が機器内に入らないよう、キャッチします。
- ・ストレーナーが目づまりすると、機器の性能が低下しますので、定期的を確認し、1週間に1度以上は洗浄するようにしてください。

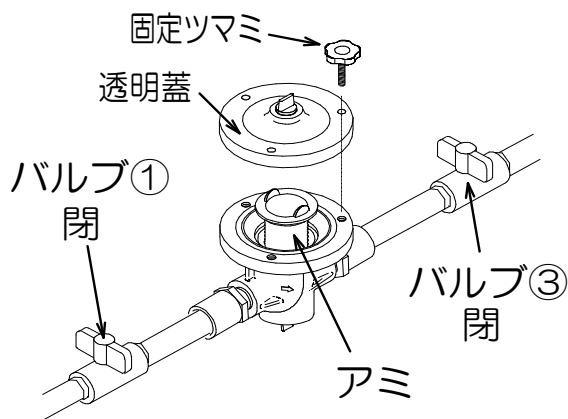
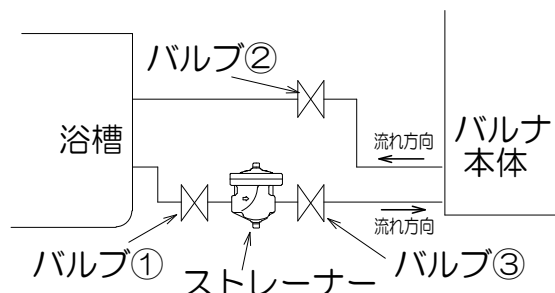
①運転スイッチを押して、運転を停止する。

②ストレーナーの両側にあるバルブ①③を締めてください。
(バルブがない場合は、多量の水があふれ出しますので、浴槽の水を排水してから行って下さい。)

③ストレーナーの透明蓋を開け、中のアミを取り出し、洗浄してください。

④洗浄後は透明蓋を閉め、両側のバルブ①③を開けて、運転を再開してください。

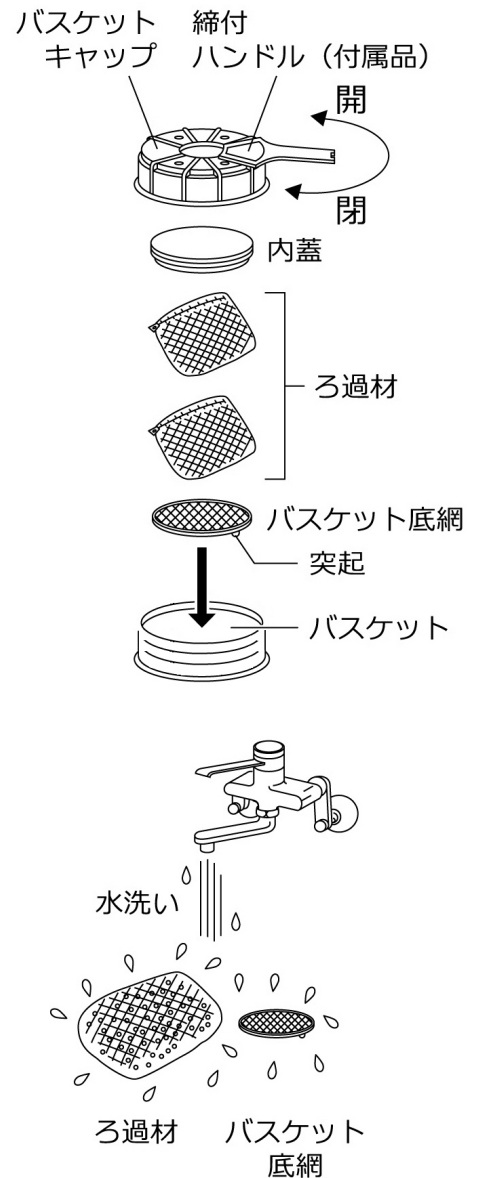
E3 エラーで再開できない場合は、運転スイッチの入/切を繰り返して、水流センサーが上がるのを確認してください。
(呼び水のしかた 13ページ参照)



4. ろ過材の洗浄

- 1ヶ月に1回以上、ろ過材を洗浄してください。
(業務用で使用する場合は、1週間に1回以上)
- ろ過材は消耗品です。摩耗している場合は、交換または補充してください。
- ろ過材ネットが破れているときも交換が必要です。

- ①運転を停止して、本体化粧蓋を外し、付属のハンドルでバスケットキャップを外します。
 - 浴槽の水位よりバスケットキャップの位置が低い場合、バスケットキャップを外すときにバスケットからお湯があふれます。あらかじめ浴槽の水位を下げてから、外してください。
- ②ろ過材(8袋)を、各バスケットから取り出してください。
- ③ろ過材を、ネットごと水洗いします。
 - このとき、バスケット底網もよく洗ってください。
 - ろ過材は、洗剤で洗わないでください。
- ④洗い終わったらろ過材をセットし、バスケットキャップを確実に締めてから、運転を再開してください。
 - バスケットキャップを斜めに取り付けたり、確実に締まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。

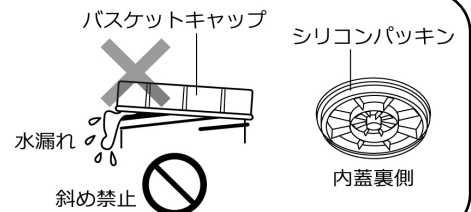


⚠ 注意

ろ過材の洗浄時は、エアロソルを吸わないようにマスク等を着用して作業して下さい。

⚠ 注意

- バスケットキャップと内蓋は、本体と水平になるように閉め、専用ハンドルで締めてください。
- バスケットキャップと内蓋を、斜めに取り付けたり、確実に締まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。
- 内蓋を取り外すときは、水漏れ防止のため、内蓋のシリコンパッキンが外れていないか、または傷んでいないか確認してください。



日常のお手入れ

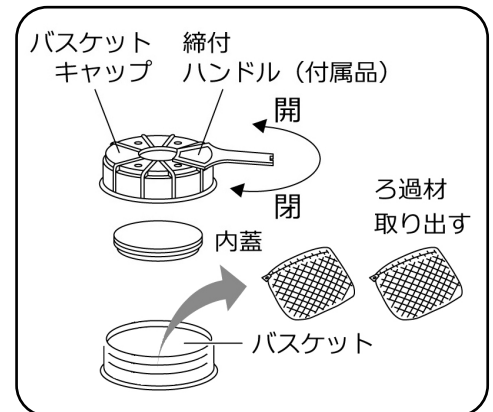
5. 配管洗浄

●配管は定期的に点検し、汚れている場合は洗浄してください。

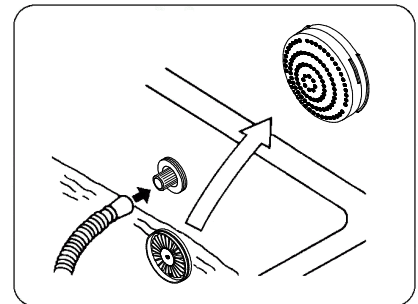
1 配管洗浄の準備

①運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

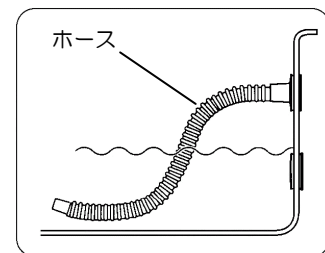
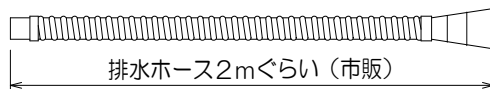
②各バスケットキャップを外して、ろ過材(計8袋)を本体から取り出します。



③浴槽のお湯を排水栓で抜き、吸込口の上位まで減らし、フィルターセットを外してください。



④排水ホース(市販)を吐出しノズルに差し込み、ホース先を浴槽内に入れておいてください。



⑤以上の状態で、電源プラグをコンセントに差し込み、運転します。浴水が、循環するか確認してください。

光触媒紫外線照射浄化システム

●ダブル制菌システム

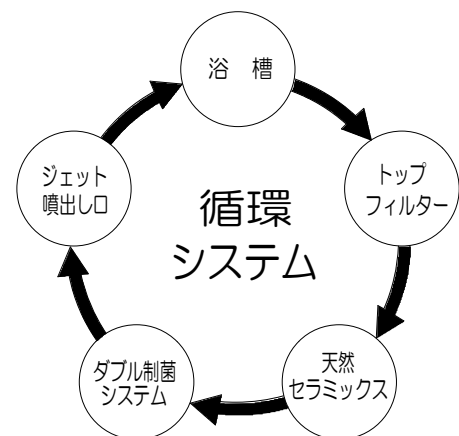
紫外線直接殺菌と、浴水中を透過してきた残余の紫外線を、光触媒である酸化チタンに照射して制菌効果を補う、ダブル制菌システムを採用しています。

●トップフィルター

髪の毛、糸クズ、砂、泥など、目に見えるゴミをキャッチします。

●天然セラミックス

アカ、脂肪類、汗に含まれるアンモニアなどを吸着します。さらに、不潔な有機物を水に分解します。

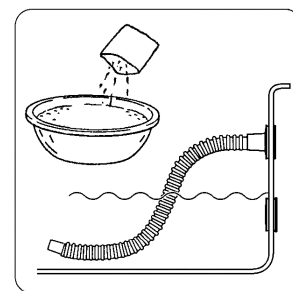


2 配管洗浄の開始

- ① 浴槽に、配管洗浄剤（別売品）を洗面器などで溶かしてから入れてください。

〔 洗浄剤は、別売品の配管洗浄剤（クリーン24）を使用してください。使用量は、クリーン24に付属の説明書をよくお読みください。 〕

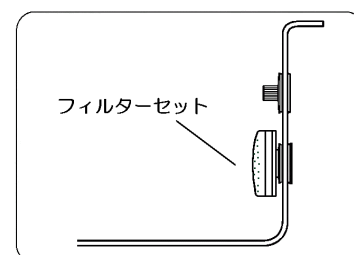
- ② 洗浄剤を入れてから、3時間以上運転してください。洗浄を長時間行うほど、洗浄効果があります。



3 配管洗浄の停止

- ① 運転を停止し、電源プラグを抜き、浴槽のお湯を全て排水してください。

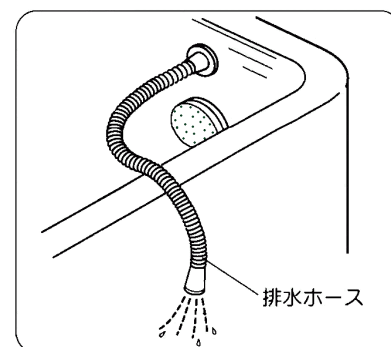
- ② 浴槽内を清掃して、フィルターセットを取り付けてください。



4 配管洗浄後のすすぎ

- ① 浴槽を満水にして、吐出しノズルに排水ホース（市販）を差し込み、浴槽の外に出してください。

- ② 電源プラグを差し込んで運転し、浴槽の水がトップフィルター位置まで減れば、運転を停止し電源プラグを抜いてください。



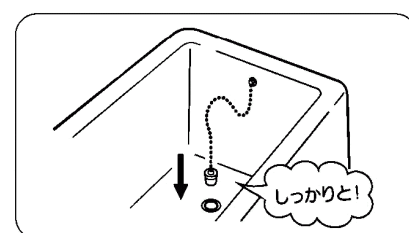
5 配管洗浄後の運転

- ① すすぎで残った浴水を全て排水し、水漏れのないようにしっかりと排水栓をしてください。

- ② 排水ホースを取り外してください。

- ③ 各バスケットに、ろ過材（2袋）・内蓋・バスケットキャップを必ず取り付けてください。（11ページ参照）

- ④ 浴槽にお湯張りして、呼び水（むかえ水）を行った（12ページまたは13ページ参照）後、電源プラグを差し込んで運転を再開してください。



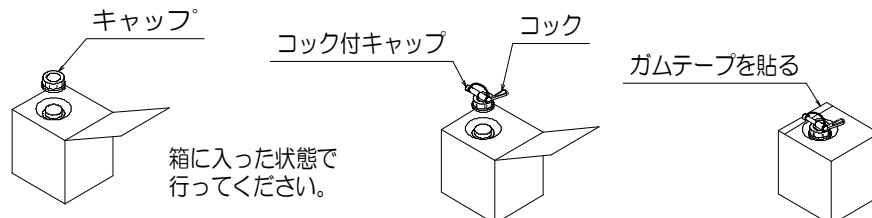
日常のお手入れ

業務用で使用する場合は、以下の6～10の項目についても実施してください。

6. 浴槽水の消毒（浴水清浄液(別売)の投入）

①コック付キャップの取付け

・浴水清浄液容器のキャップを外し、コック付キャップをしっかりと締め付けます。



②浴水清浄液の投入

・浴槽水 0.7m³に対して、浴水清浄液 1 回分の投入量目安は 17.5mL です。浴槽水中の遊離残留塩素濃度を頻繁に測定して、通常 0.2 ないしは 0.4mg/L を保ち、かつ、最大 1.0mg/L を越えないように努めてください。

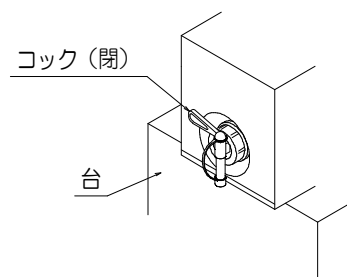
また浴槽水の遊離残留塩素濃度を適宜測定し、その記録を3年以上保存してください。



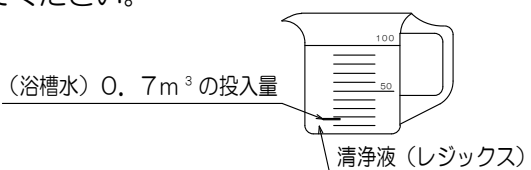
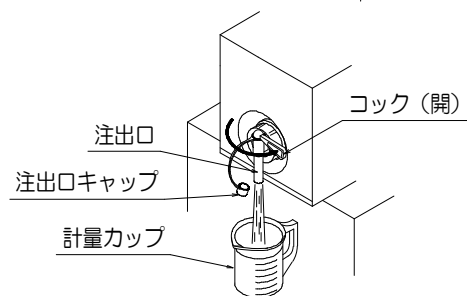
注意

過剰に浴水清浄液を投入すると、塩素濃度が高くなり、塩素臭が発生しやすくなったり、機器が腐食する恐れがあります。

1) コック付キャップ部分を箱の注出口穴より引き出し、コックが閉まっていることを確認してから浴水清浄液を安定した台の上に置きます。



2) 注出口の下に計量カップを置いて注出口キャップをはずし、計量カップの目盛を見ながら、浴水清浄液が飛散しないよう、ゆっくりとコックを開けて計量カップに必要量の浴水清浄液が入るとコックを閉め、計量カップの清浄液を浴槽水中に投入してください。



7. ろ過装置の洗浄と消毒

●浴槽水換水と浴槽清掃の前にはすると無駄がありません。

- ① ろ過材を手洗いして元に戻してください。(ろ過材の洗浄 24ページ参照)
- ② ろ過装置の消毒は、浴槽水 0.7m³に対して浴水清浄液「25mL」が目安です。比色法(DPD法)で浴槽中の遊離残留塩素濃度を測定し、「5～10mg/L」程度になるように浴水清浄液を投入してください。(浴水清浄液の取扱いについては、浴槽水の消毒(浴水清浄液の投入)参照)
- ③ 浴槽水の遊離残留塩素濃度を「5～10mg/L」で数時間運転します。
- ④ 数時間後、運転を停止して機器と浴槽の水抜きを行います。(水抜き方法 18ページ参照)
- ⑤ 運転を再開します。(「運転の準備」11ページ参照)

⚠ 注意

浴槽の水抜き時は、排水下流に影響のない様、浴槽水の残留塩素濃度に注意してください。

8. 浴槽水遊離残留塩素濃度測定

- ・浴槽水の遊離残留塩素濃度測定は、頻繁に行ってください。
- ・浴槽水の遊離残留塩素濃度は、通常 0.2 ないしは 0.4mg/L を保ち、かつ、最大 1.0mg/L を越えないように努めてください。

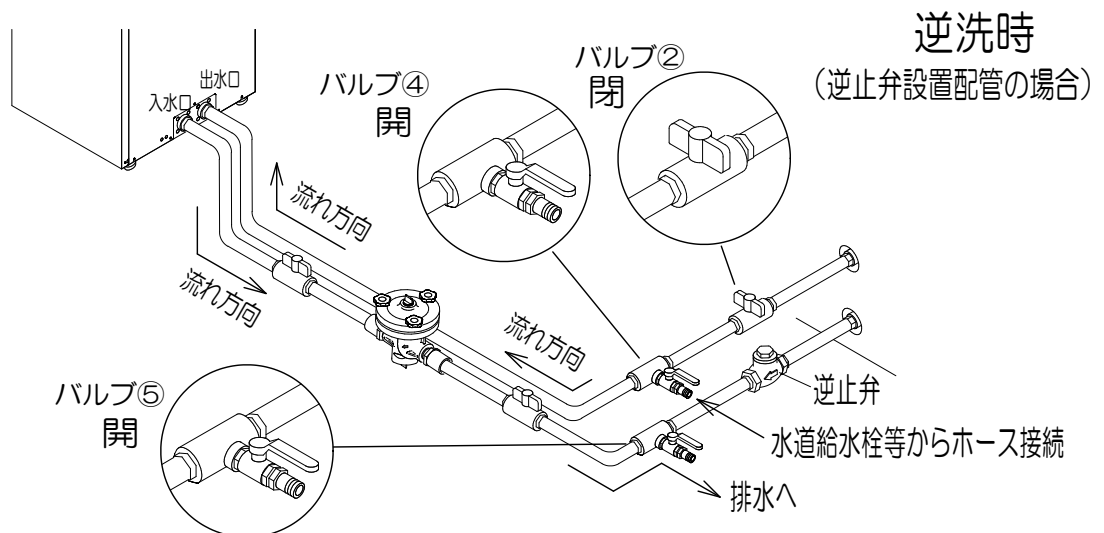
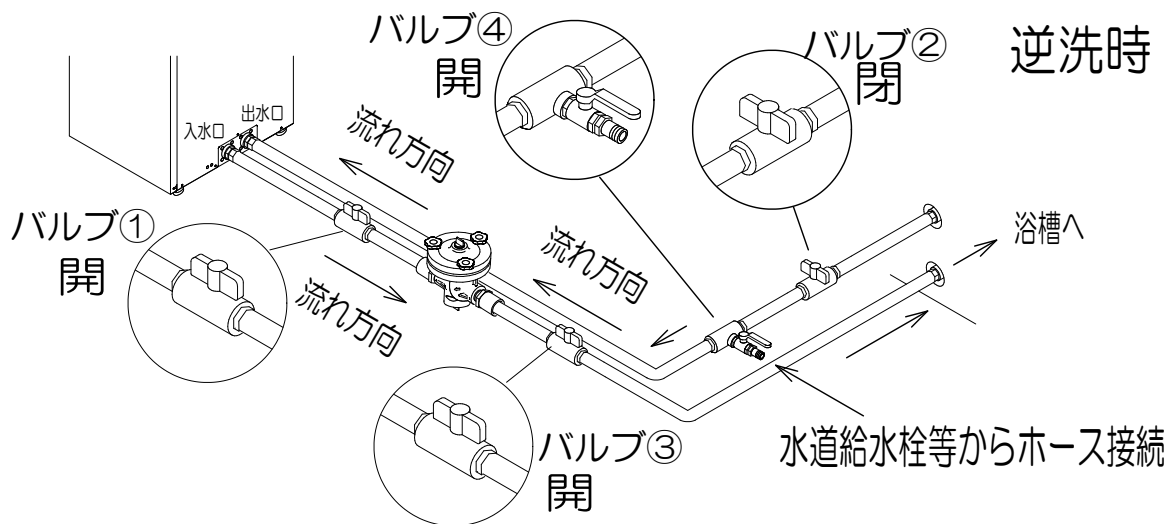
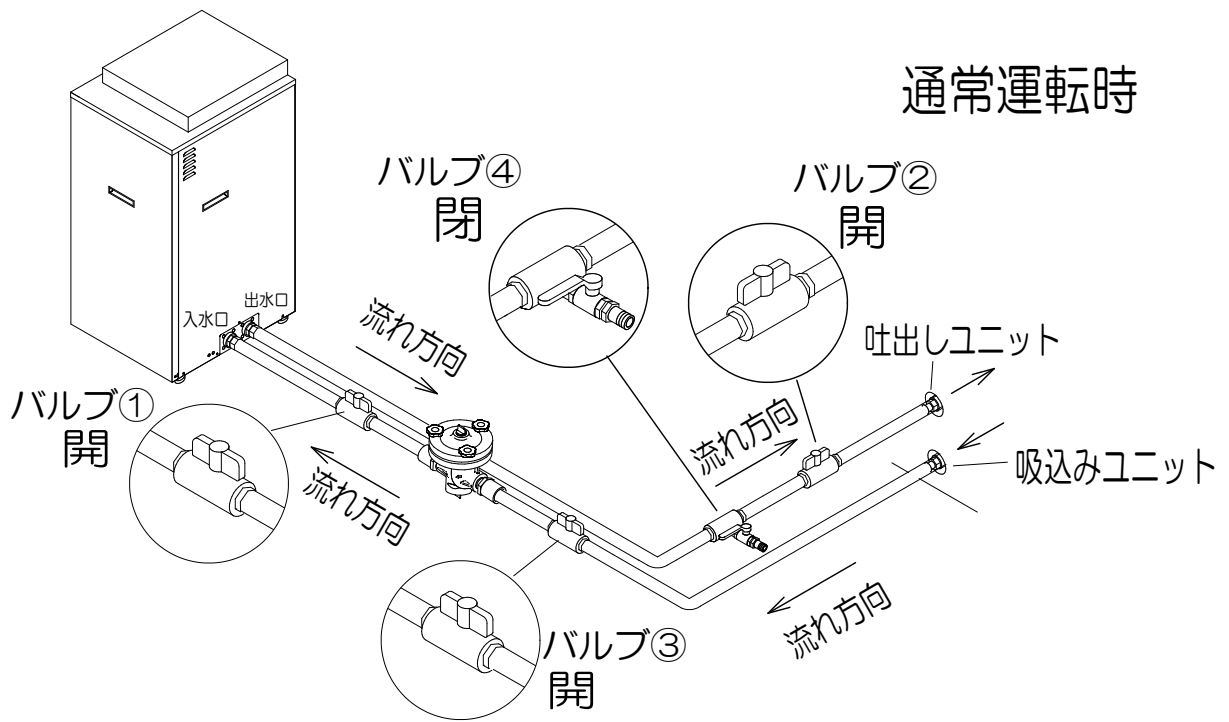
9. 浴槽水の水質検査

- ・浴槽水の水質検査は、1年に2回以上（消毒が塩素消毒でない場合、1年に4回以上）最寄りの保健所など、検査機関に下記項目の検査を依頼して、検査に関する書類は、3年以上保存してください。

検査項目	水質基準
濁度	5度以下であること
過マンガン酸カリウム消費量	25mg/L 以下であること
大腸菌群	1個/1mL 以下であること
レジオネラ属菌	検出されないこと(10CFU/100mL 未満)

10. ろ過装置の逆洗浄


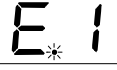




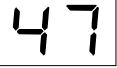
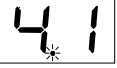


- ①ろ過材の逆洗浄を行う場合は、まず運転を停止し電源プラグを抜き、浴槽のお湯をすべて排水してください。またフィルターセットも外してください。
- ②吐出しユニット側配管のホース接続部と、浴槽との間にあるバルブ②を閉め、ホース接続口に、水道給水栓等からホースを接続してください。
- ④このときストレーナー両側にあるバルブ①③は、共に開いていることを必ず確認してください。どちらか1つでも閉じていると、本体故障の原因となる場合があります。
- ⑤ホース接続口のバルブ④を開け、水道給水栓等から給水を開始してください。
浴槽の吸込み口から水が排水されます。5分以上通水してください。
(逆止弁設置配管の場合は、バルブ⑤も開けてください。バルブ⑤より排水されます。)
- ⑥逆洗浄終了後は、水道給水栓等から給水を停止し、ホースを取り外し、ホース接続口のバルブ④を閉めてください。(逆止弁設置配管の場合は、バルブ⑤も閉めてください。)
- ⑦ホース接続部と、浴槽との間にあるバルブ②を開けて下さい。
- ⑧浴槽内を洗浄後、フィルターセットを取り付けてください。
- ⑨以降は、26ページ④ 配管洗浄後のすすぎ に従ってください。



異常とその処置

■エラー表示一覧

○修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

エラー表示	原因	処置
 (断線)  (短絡)	水温センサーの故障	販売店にご連絡ください
	追いだき等による水温の上昇 運転中に電源プラグを抜いた、または停電	水温を下げる 本体の運転スイッチでリセットしてください
	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	ストレーナー(別売)の目詰まり	ストレーナー(別売)のアミ洗浄
	ストレーナー(別売)からの空気侵入	蓋の各固定ツマミ、エア抜き用ツマミを締め付けてください
	配管の汚れ	配管の洗浄
	配管内に異物が入った	異物を取り除く
	水流センサーの故障	販売店にご連絡ください
	循環ポンプの故障	販売店にご連絡ください
	バスケット底網の入れ忘れ	突起部分を下側にして挿入
	配管内に大量の空気が入った	むかえ水
	ストレーナー(別売)の目詰まり	ストレーナー(別売)のアミ洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
	ヒーターの汚れ(空だき)	配管の洗浄
	空だきセンサーの故障	販売店にご連絡ください
	ヒーター制御回路の故障/(制御基盤の故障)	販売店にご連絡ください
	リモコンとの通信不良 (電源投入時等、一時的に「00」表示する場合がありますが異常ではありません)	販売店にご連絡ください
 以上 点滅表示	追いだき等による水温の上昇	水温を下げる
 運転開始時 点滅表示	水流センサーの汚れ	配管の洗浄
 何も表示しない	運転を停止させている	運転スイッチを押す
	電源プラグが抜けている	電源プラグを差し込む
	漏電ブレーカーが「切」になっている	漏電ブレーカーを「入」にする(※)
	コンセントに電気(100V)がきていない	屋内のブレーカーを調べてください
 以下 点滅表示 (運転停止)	本体内部の浴水温度が3℃以下になった	3℃以下では運転しません (凍結による故障防止) (放置したまま5℃以上に達すると自動復帰します)

※ 漏電ブレーカーを「入」側に出来ない場合は、販売店にご連絡ください。

その他の表示

HE : 能力不足表示(浴水量過多、気温低下等で保温できないときに表示されます。故障ではありませんが、浴水量を減らしたり浮かし蓋等の対策を行ってください)

BE : 販売店にご連絡ください。

hd : ヒーター回路の断線(ヒーター温度ヒューズ切れ)です。販売店にご連絡ください。

■症状/原因/処置

○修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因	処置
浴水の水が濁る	追いだき釜の汚れ	追いだき釜の洗浄
	バスケットにろ過材が入っていない	4つのバスケットすべてに、ろ過材(各2袋ずつ)を入れてください。
	浄化微生物がろ過材に付着していない	配管洗浄を行い、水を入れ替えてください。
	入浴剤や温泉水を使用した	入浴剤や温泉水を使用しないでください。
	長期間運転をしなかった	配管洗浄及び、ろ過材の洗浄を行ってください。
循環が悪くなった	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	ストレーナー(別売)の目詰まり	ストレーナー(別売)のアミ洗浄
	ろ過材の目詰まり	ろ過材の洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
水温が上がらない	温度設定がOFになっている	好みの温度に設定してください。
	浴槽からの放熱が多い	浴槽を蓋等で保温してください。
	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	ストレーナー(別売)の目詰まり	ストレーナー(別売)のアミ洗浄
	ろ過材の目詰まり	ろ過材の洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
	ヒーターの故障	販売店にご連絡ください。
	節約タイマーモードの設定時間が長い	設定時間を変更する(時間を短くする)
水温が上がりすぎる	本機は、循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用しています。夏期や機器周辺の気温が高いときは、設定温度より水温が高くなる場合があります。	水を浴槽に入れ、適度な温度まで下げてください。
浴槽の水の減りが早い	本体から水漏れしている	販売店にご連絡ください。
	浴槽の栓が緩んでいる	浴槽の栓をしっかりとる

ご注意：浄化能力について

使用開始後、浄化能力が安定するまでに1～2週間かかる場合があります。浴槽の水が濁ることがあります。このようなときは配管洗浄を行い、水を入れ替えてください。

部品交換のしかた


- ・ 短期間で消耗する部品は特にありませんが、交換部品が必要なときはお買い上げの販売店でお求めください。

紫外線ランプの交換



(紫外線ランプ・グロー球のお求めは、販売店までご連絡ください)


○紫外線ランプは 1 年使用、または紫外線ランプ交換ランプが点灯(点滅)したら交換してください。

紫外線ランプは、UV1・UV2 両方を交換してください。同時にグロー球も交換してください。

○紫外線ランプ交換ランプが点灯(点滅)したときは、温度表示部に「」が表示されます。

(約 30 秒に 1 回)

右上に「」、または右下に「」を表示：UV1 の交換時期を示しています。

左上に「」を表示：UV2 の交換時期を示しています。

○リード線のコネクターを外すときには、必ずコネクターを持って外してください。

リード線を引っ張らないでください。

○交換終了後は、下記の手順で「紫外線ランプ交換」のクリア処理を行ってください。

UV1 ①運転停止状態 → ②温度設定スイッチ長押し(「50」点滅)

→ ③設定変更スイッチ押す(「00」表示) → クリア完了

UV2 ①運転停止状態 → ②節約タイマースイッチ長押し(「50」点滅)

→ ③設定変更スイッチ押す(「00」表示) → クリア完了

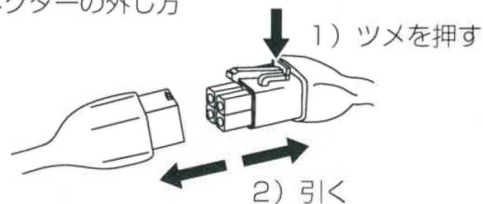
交換の手順

①運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

②前板を外し、本体中央部両側にある紫外線灯ケースのゴムキャップをそれぞれ外してください。

③紫外線ランプのリード線のコネクターを外してください。

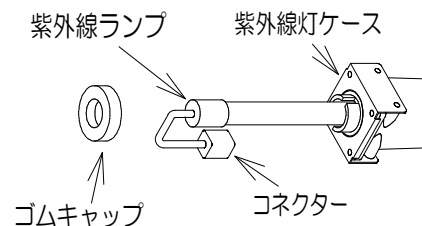
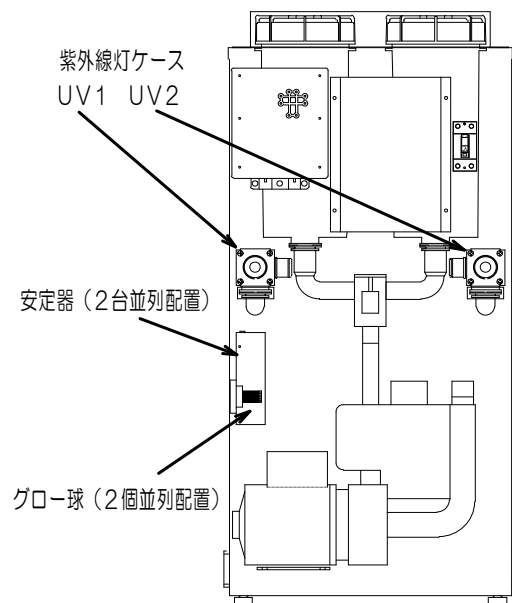
●コネクターの外し方



④紫外線ランプを取り出して新品と交換してください。

⑤グロー球(2 個)を交換してください(グロー球は左に回すと外れます)。

⑥交換したら逆の順序で外した部品を組み付けてください。



⚠ 注意

- ・ コネクターを外すときは手をケガないように注意してください。
- ・ 紫外線ランプはガラス製です。割ってケガをしないように注意してください。
- ・ 点灯中の紫外線ランプの光を、直接見ないでください。目を痛める恐れがあります。

仕 様

商 品 名	バルナⅡ(100V仕様)	バルナⅡ(200V仕様)
型 式	CKV-701JR	CKV-721JR
電 源	単相 100V 50/60Hz	単相 200V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	1240/1280W	2120/2160W
ヒ ー タ ー	間接加熱ユニットヒーター 560W×2	間接加熱ユニットヒーター 1000W×2
製 品 質 量	約 35kg (ろ過材別)	約 40kg (ろ過材別)
電 源 コ ー ド の 長 さ	約 5m	付属していません
外 形 寸 法	高さ 836×幅 392×奥行き 480 (mm)	
設 置 場 所	屋外用 (軒下据置)	
対 応 入 浴 人 数	1日の延べ人数 (目安) 10人まで	
対 応 浴 槽 容 量	700L まで (寒冷地を除く)	
除 菌 方 式	紫外線照射及び光触媒 (24時間照射)	
浄 化 方 式	物理浄化:トッpfILTER 微生物浄化:ろ過材 (セラミックス)	
水 質 基 準 (家 庭 用)	24時間風呂協議会自主基準に準ずる	
	濁度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25mg/L 以下
	大腸菌群数	1個/1ml 以下
	レジオネラ属菌	10 ² CFU/100ml 未満
	検体採取方法 検査方法	24時間風呂協議会自主基準に準ずる
水 質 基 準 (業 務 用)	公衆浴場における水質基準に関する指針に準ずる	
	濁度	5度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25mg/L 以下
	大腸菌群数	1個/1ml 以下
	レジオネラ属菌	検出されないこと (10CFU/100ml 未満)
循 環 管 取 付 口 径	25A	
循 環 水 量	27/32 (L/min.)	
紫 外 線 照 射 装 置	6W×2	
循 環 ポ ン プ (定 格 出 力)	自吸式 (120/160 (W))	
ろ 過 材 容 量	11.2kg (1.4kg×8)	
ろ 過 材 洗 浄 方 式	手洗い	
別 売 品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換用トッpfILTER: 傷んだら交換 ・ 補充用ろ過材: 摩耗などにより減少したら補充 ・ ろ過材ネット: 傷んだら交換 ・ 交換用紫外線ランプ: 約1年または交換ランプが点灯 (点滅) したら交換 ・ グロー球 : 紫外線ランプ交換時に交換 ・ 配管洗浄剤: 配管洗浄毎に使用 ・ 浴水清浄液 (レジックス) 2.5L ・ レジックス200mL 	
安 全 装 置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環ポンプ空運転防止機構 (水流センサー) ・ ヒーター空だき防止機構 (空だき監視センサー、温度ヒューズ) ・ 浴水温度過昇保護装置 (過昇保護センサー) ・ 漏電防止装置 (漏電遮断器) 感度電流 15mA ・ 過電流防止装置 (管ヒューズ 15A) 	
リ モ コ ン	コード長約5m+中継ケーブル5m	

※改良のため、仕様の一部を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

アフターサービス

アフターサービスを依頼される時

- 30～31ページの異常とその処置を調べていただき、なお、異常のあるときは、お買い上げの販売店に御連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式名……バルナⅡ CKV-701JR/CKV-721JR
- お買い上げ年月日（保証書をご覧ください。）
- 異常の状況（停止モニター・故障表示など、できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所、電話番号
- 訪問ご希望日

保証について

■この機器には保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日」などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになった後は、大切に保管してください。

- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

- この機器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、機器の性能を維持するための部品です。

■転居される場合

- 機器の移動、設置、付帯工事はお買い上げの販売店までご相談してください。
この場合、移動、設置、付帯工事に要する費用は保証期間内でも有料となります。

この説明書および本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反してご使用された場合の故障事故は保証いたしません。

× 毛

× 毛

《お客様メモ》

アフターサービスのご連絡に便利です。

型式名	
バルナⅡ CKV-701JR(100V仕様)	<input type="checkbox"/>
バルナⅡ CKV-721JR(200V仕様)	<input type="checkbox"/>
	(チェック欄)
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店	
担当者	
TEL	



コロナ工業株式会社

本 社 〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦 400-1

TEL (0883) 24-1155

FAX (0883) 24-8506